

卒業論文の執筆と提出について

2022 年 04 月 20 日 策定

2022 年 11 月 17 日 改訂

心理学部

A. 卒業論文の提出

春学期提出者

1. 提出期間：2022 年 7 月 11 日（月）0:00～7 月 13 日（水）15:00 厳守
2. 提出方法：Microsoft Forms へ電子データとして提出（URL は別途周知）
3. 卒業論文試問会 ▶2022 年 7 月 20 日（水）※オンライン開催（URL は別途周知）
4. 卒業論文発表会 ▶2022 年 7 月 20 日（水）※対面開催

秋学期提出者

1. 提出期間：2022 年 12 月 16 日（金）0:00～12 月 20 日（火）15:00 厳守
2. 提出方法：Microsoft Forms へ電子データとして提出（URL は別途周知）
3. 卒業論文試問会 ▶2023 年 1 月 27 日（金）※オンライン開催（URL は別途周知）
4. 卒業論文発表会 ▶2023 年 1 月 28 日（土）※対面開催

提出部数：

【卒業論文（本編）】▶ Microsoft Word 形式 1 部, PDF 形式 1 部 計 2 部

【卒業論文（梗概）】▶ Microsoft Word 形式 1 部 計 1 部

ファイル名は以下の命名規則を遵守すること。

【卒業論文（本編）】※●部分には提出学期（春か秋）を入力する。

提出形式（Word）▶ 【卒業論文（本編）】22●_〇〇ゼミ_執筆者・執筆者… .docx

提出形式（PDF）▶ 【卒業論文（本編）】22●_〇〇ゼミ_執筆者・執筆者… .pdf

【卒業論文（梗概）】

提出形式（Word）▶ 【卒業論文（梗概）】22●_〇〇ゼミ_執筆者・執筆者… .docx

（例）22 年度秋学期に提出する場合

【卒業論文（本編）】22 秋_青山ゼミ_田中・鈴木・斉藤.docx

【卒業論文（本編）】22 秋_青山ゼミ_田中・鈴木・斉藤.pdf

【卒業論文（梗概）】22 秋_青山ゼミ_田中・鈴木・斉藤.docx

注意点：

*共同執筆の場合は、代表者が責任を持って提出すること。

*システム障害により Microsoft Forms が使用できない場合を除き、遅れ提出は原則認めない。期間内直前にインターネット環境等の問題で提出できないなどのトラブルを考慮し、必ず早めに提出すること。

*提出機会は提出期間内に一度のみ。一度提出した卒論を修正して再提出することは認められない。

*卒業論文（本編）の執筆形式は、「C. 卒業論文執筆要項」を参照。

*卒業論文（梗概）の執筆形式は、「D. 梗概」を参照。

*その他、不明点や形式確認はゼミの指導教員に相談すること。

*試問会と発表会の両方に出席しなければ卒業論文の単位は認められないので、必ず両日のスケジュールを終日空けておくこと。各々の詳細は別途資料を配布する。

B. 卒業論文の執筆作業

1. 使用できる PC

卒業論文執筆のために、心理学実験室の PC の使用を禁じる。個人所有の PC、ゼミ室の PC、情報処理教室の PC 等を使用しなければならない。

2. ゼミ室在留可能時間

在留可能時間を 8 時～22 時まで（月～土）とし、それ以降の在留、泊まり込み、休日の在留は原則として禁止する。やむを得ない事情で残留を希望する場合は、予め指導教員に相談の上、残留前日の正午までに香柏館学部事務室（香柏館実験準備室ではない）に必要書類（「構内残留・入構願い」）を提出しなければならない。なお、両実験準備室および学部事務室は 17 時に閉室する。

3. 新型コロナウイルス感染症拡大防止

別途周知しているとおり、ゼミ単位で指導教員が入講・入退室管理と記録を行っている。37.5 度以上の発熱や咳・喉の痛みの症状がある場合や同居家族や身近に感染疑いの方がいる場合などは、ゼミ室はおろか大学構内に入構してはならない。

C. 卒業論文執筆要項

1. 執筆要項

*卒業論文は表紙、目次、本体(要約・本文・引用文献)の順で作成する。

*表紙には表題、学生 ID、氏名を記し、ページ番号は要約を第 1 ページとし、第 2 ページから本文を始め、それ以降は引用文献の最終ページまで付す。

*必要に応じて本体の後に付録を付けてもかまわないが、付録を見なくても内容がわかるように本文を書く。

*執筆言語は原則として和文とし、特段の理由がある場合は英文での執筆を認めるが、必ず事前に指導教員へ相談すること。

*卒業論文は Microsoft Word で作成し、以下要項に従わねばならない。

*PDF 版が対象となるので注意すること。

【和文の場合】

書式 : A4 判縦長、白地に黒印字とする。

字数 : 1 枚あたりの字数は 1,000 字（40 字×25 行）で、余白は上下 30mm、左 30mm、右 15～20mm 取る。1 行あたり 40 字に満たない場合は右余白を 15～20mm の範囲で調整して 40 字にする。

ページ数 : 片面印刷で図表を含み、12～20 ページとする。なお、ページ数に含められるのは「要約～引用文献」までで、表紙、目次、付録はページ数に含めない（付録には「付録-1」のように別のページ番号を付す）。特別の事情がある場合に限り、プラス 10 ページを上限として超過を認めるが、不必要に超過した場合は書き直しの対象となり得る。

文字 : フォントサイズ 10.5～12 ポイントとし、本文のフォントは明朝体とする。

【英文の場合】

書式 : A4 判縦長、白地に黒印字とする。

語数 : 1 枚あたり約 350 ワード（30 行を目安とする）で、余白は上下 30mm、左 30mm、右 20mm 取る。

ページ数 : 和文の場合と同様とする。

文字 : フォントサイズは 10.5～12 ポイントとし、本文中で和文を用いる際には上記「和文の場合」のフォントに従う。

*上記以外の執筆規定は、基本的には日本心理学会の“執筆・投稿の手引き”に準ずるが、詳細は各ゼミ指導教員の指示に従うこと。

*日本心理学会の“執筆・投稿の手引き”は SJ 実験準備室に置いてあるが、下記 URL でも閲覧できる。

http://www.psych.or.jp/publication/inst/tebiki20150910_fixed_compress.pdf

* Microsoft Word の雛形ファイル（和文のみ）を下記学部サイトにアップロードするので、適宜ダウンロードして利用してもかまわない。ただし、最終的な体裁は各自で確認すること。

https://psych.doshisha.ac.jp/lecture_support/

【2022 年 11 月 17 日追記】

2022 年 10 月に“執筆・投稿の手引き”が改訂されました。それに伴い、以下の 2 点について、改訂版に準ずることとします。その他は旧版、改訂版いずれに準じて構いません。

- 図のタイトルは図の上に書く
- 本文中の著者の引用で序舎が 3 名以上の場合、初出時から” et al.” もしくは” ら” とする

D. こうがい 梗概

1. 梗概とは：卒業論文の梗概は、学部紀要『同志社心理』に掲載するための原稿である。
2. 内容：卒業論文の要約と同様でかまわないが、以下の形式に従って適宜修正する。なお、卒業論文を英文で作成した場合は、以下の形式に従い和文で作成する。

【梗概の指定形式（和文のみ）】

*A4 縦、1 行につき 40 文字。

*卒業論文タイトルから所属ゼミ名まで、全体として 12 行以上 14 行以内で作成する（梗概本文で 12～14 行ではない）。

*フォントサイズは 10.5～12 ポイントとする。

*1 行目に卒業論文のタイトルを記してセンタリングする（英文作成者に限り英文タイトルを 1 行目、和文タイトルを 2 行目に併記する。英文タイトル分があるので 1 行分増した形式となる）。

*2 行目は空白行とする（英文タイトルの場合はこの行が和文タイトルになる）。タイトルが 2 行以上にわたる場合にもタイトルの下の行を空白行とする。この場合でも全体として 12 行以上 14 行以内とする。

*3 行目は右寄せで執筆者名を記す。執筆者が複数の場合は、名前の間に「・」をはさみ、学生 ID 順に並べる。学籍の年度が異なる場合は、年度の早い者から書く。

*4 行目から梗概本文を書く。

*最終行に右寄せでカッコ内にゼミ名を記す。たとえば（新島ゼミ）というように指導教員の姓のみを記す。

*執筆にあたり、次ページの見本を参考にする。

【梗概執筆の見本】

卒業論文タイトル

同志社太郎・心理学花子

卒業論文の梗概は、「同志社心理」に掲載するために提出してもらう原稿です。内容は、卒業論文の本体につける要約と同じでもかまいませんが、目的、方法、結果、結論の全てを含んでいる必要があります（引用文献は不要です）。卒論本体と同じく必ず提出前に指導教員のチェックを受けて下さい。適当なところで段落を設けてもかまいませんが、図表を含めることは出来ません。1 行目にタイトル（提出した卒業論文と同じもの）、2 行目は空けて、3 行目に右寄せで執筆者名、4 行目から本文とします。本文最終行右端にゼミ名をカッコ内に記入する。

「同志社心理」は同志社大学心理学部の皆さんに配布されるだけでなく、全国の大学や心理学関係の研究所に送付され、学外の多くの人にも閲覧されます。したがって、内容などに誤りがないよう十分に気を付けて下さい。

（新島ゼミ）